



社団法人 茨城県放射線技師会

I N F O R M A T I O N

〒310-0851 水戸市千波町 1918 茨城県総合福祉会館内 発行責任者：横田 浩 編集：小原 孝夫  
TEL 029-243-6747 FAX 029-244-6767 E-mail mailbox@iart-web.org

## 《 年 頭 の 挨拶 》

会長 横田 浩

明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。昨年は、東日本大震災と原発事故という衝撃の年でありました。これまで原発の安全神話を疑いもせず便利さと快適さを享受してきた事を省みるとともに、被災された皆様の一日も早い復興と原発事故の収束を願ってやみません。

文部科学省が昨年10月、小中高の学校教育に放射線を学ぶ為の副読本の導入を決定しました。今回の原発事故による一般住民の混乱は放射線の知識の無さからくるものも多少あると考えますし、これまで国策として原発を推進してきながら、放射線に関する教育が乏しかったのかとも思いますので、導入の成果を興味深く見守りたいと思います。

我々の日常業務においても、放射線の影響を心配する質問が多数寄せられていると聞きます。原発の被ばくと医療被ばくを同一に扱ったテレビ報道から、放射線検査を嫌がる患者さんが増えたとも聞きますし、一方ではインドのケララ州やイラン北部のラムサルは、年間20mSvや50mSvの自然放射線被ばくがかえってガンの発生率を低くするという放射線ホルミシスを提唱する専門家もおります。患者さんに安心して検査を受けて頂けるかどうかは、我々の説明によるものも大きいと思いますので、患者さんが何を心配しているのかを聴いて的確に答える必要があると考えます。

さて、昨年から日本放射線技師会の新生涯教育システムが始まりました。新システムの中には、認定制度が改正されることも十分予測されますし、また変わるのかとの声もあるかと思いますが、今まで技師会が独自に認定していた制度では周囲から評価される事はありませんので、監督官庁である厚生労働省の指導のもとに進めるシステムでスキルアップを図って頂きたいと思います。さらに関連学会と共同して広告のできる認定技師制度が構築されれば、自身のスキルアップのみでなく認定を取得する意味も大きくなると思います。茨城県放射線技師会では、昨年からはまった新人研修会と同様に、認定制度に関わる講習会の開催に積極的に取り組んで参ります。

また、皆様にご協力頂いた放射線技師業務実態調査をもとに、日本放射線技師会では、放射線技師の業務拡大について、X線CT検査やMRI検査における自動注入器からの造影剤投与と留置針の抜針及び止血、下部消化管検査に必要なネラトンチューブの挿入、RI検査の法体系確立等を厚生労働省医政局に働きかけております。

今年も、会員の皆様のご理解とご協力を賜りながら、より良い地方技師会活動を展開していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2012年1月元旦

## 《 お 知 ら せ 》

### 1. 第 83 回 超音波研究会のご案内

今回は消化管超音波検査の第一人者である成田赤十字病院の長谷川雄一先生にご講演頂きます。テーマは“消化管超音波検査～遭遇しやすい症例から見落としの無い検査を考える～”とし、日常遭遇しやすい症例を通し消化管検査のキーポイントについて学びたいと考えております。また、活字だけでは伝わりにくいテクニカルなエッセンスをハンズオンの中で加えて頂く予定です。消化管検査は苦手と言われる方には、またとない機会ですので、多数のご参加をお待ちしております。

日時：平成 24 年 1 月 14 日(土) 15:00～17:00

会場：筑波メディカルセンター西館 3 階

テーマ：消化管超音波検査

～遭遇しやすい症例から見落としの無い検査を考える～

講師：成田赤十字病院 中央検査部課長  
長谷川雄一先生

### 2. 放射線機器管理士部会

#### 第 11 回研修会のご案内

近年、医療現場にはフィルムレスの波が押し寄せてきております。そこで、放射線機器管理士部会ではフィルムレスにおける機器管理に関連した研修会を企画いたしました。

今回は、メーカーより最近普及の著しい IPS 方式のモニタの基礎、ソフトコピーの現状と今後の動向について、会員からはモニタの機器管理、県内のモニタの管理状況について講演いただきます。ご多忙のことと存じますが、是非ご出席頂きますようお願い申し上げます。

日 時：H24 年 1 月 19 日(木) 18:30 時～

場 所：筑波メディカルセンター病院

西館 3 階 TMC ホール

問合せ：ひたちなか総合病院

放射線技術科 川崎 善幸

email: [yoshiyuki.kawasaki.ma@hitachi.com](mailto:yoshiyuki.kawasaki.ma@hitachi.com)

### 3. 第 5 回放射線安全講習会のお知らせ

放射線管理委員会では年 2 回、看護師を主とした医療専門職を対象に放射線安全講習会を開催しております。教育訓練として充当できますので日頃から放射線診療業務に関わる医療関係者の方々の参加をお待ちしております。なお、各施設の看護部長様宛に案内状を送付しておりますが、ご案内の方よろしくお

願いたします。

日時：2 月 12 日(日) 9:30～12:30

場所：茨城県立医療大学 111 講義室

内容：放射線安全の基礎

放射線診療のリスクマネジメント

会費：無料

事前申し込み：診療放射線技師は不要

問合せ：筑波メディカルセンター病院

放射線科伊東善行 e-mail: [z-ito@tmch.or.jp](mailto:z-ito@tmch.or.jp)

### 4. 第 3 回乳腺研究会『ブラッシュアップセミナー』開催のご案内

下記の日程にて第 3 回乳腺研究会を開催致します。今回は『ブラッシュアップセミナー』と題し、一度基本に立ち返り、さらに知識を深めていただくことを目的としたプログラムとなっております。

H24 年 3 月 17 日・18 日には茨城県放射線技師会主催のマンモグラフィ撮影技術認定講習会を開催致します。今後マンモグラフィ撮影技術認定の取得を目指している方の予習として、またすでに認定を取得されている方の復習として、皆さんで勉強し気兼ねなく意見交換の出来る場となれば幸いです。

日時：H24 年 2 月 12 日(日) 10:00～14:30

会場：茨城県立医療大学 112 中講義室

会費：会員 1,000 円 非会員 2,000 円

問合せ：筑波大学附属病院放射線部

宮田真理子 Tel ; 029(853)3729

### 5. 茨城マンモグラフィ検診従事者認定講習会開催の案内

(社)茨城県放射線技師会では、県内技師の資質向上を目的に標記講習会を下記の通り開催することになりました。まだ認定を取得していない方、ランクアップを目指している方、認定更新の方はこの機会に是非受講することをお勧めいたします。

日時：H24 年 3 月 17・18 日

場所：茨城県立医療大学 講義棟

詳細は技師会HPをご覧ください。

多数のご参加お待ちしております。



## 《 行 事 報 告 》

### 1. 第2回茨城放射線腫瘍研究会報告

10月15日(土)つくば国際会議場にて茨城放射線腫瘍研究会(ISTRO)・後援茨城放射線技師会が開催されました。放射線治療医以外の医師から、放射線治療についての発表、また治療医、技師、物理士、看護師からそれぞれの立場、業務内容について発表がありました。一般研究発表12題・シンポジウム3題で、参加人数は約100名でした。内技師会員20名の参加がありました。技師会員の発表は、一般研究発表1題、シンポジウム1題でした。次回は平成24年3月に開催予定です。放射線治療に興味のある方は是非参加してください。  
放射線治療技術研究会 塩谷浩之



### 2. 県北地区会 医用画像表示モニタ管理セミナー2

10月19日(水)日立メディカルセンターにて、株式会社ナナオ様の協力により1回目とは異なる内容で医用画像表示モニタ管理セミナーを開催いたしました。忙しい中大勢の方々に参加していただきました。ナナオ様の都合により時間の制限はありましたが、実習において、画素数の違うモニタにて同一画像を表示して比較することは、1施設ではできず、こういったセミナーでなければできないと思い



ます。また、モニタ品質管理の前に、モニタの劣化を防ぐ方法も重要で、こまめにモニタの電源を切るといことが、有効な方法です。今後定期的なセミナーを行い、われわれの業務に役立てたいと思います。(報告者波多野)

### 3. ソフトボール大会報告

10月30日(日)水戸市の田野市民運動場にて開催されました。9チームの参加があり、日頃の運動不足解消兼ねて楽しく開催されました。また、村田氏の手打ちそばの実演もありました。けが人もなく無事終了することができました。(報告波多野)

成績は以下の通りです。

優勝：日立総合病院B

準優勝：土浦協同病院

三位：東芝メディカルシステムズ



### 4. 放射線管理士部会

#### H23年度放射線測定器動作確認開催報告

11月27日に、平成23年度放射線測定器動作確認を県立医療大学で開催しました。今回は、14施設25名の参加がありました。



各施設の電離箱式サーベイメータを持ち寄り、正しいサーベイメータの使い方を確認しながらの実習となりました。校正は参照標準線源<sup>137</sup>Cs(γ線)を使用して、線源と測定器の距離や高さを、参加者でお互い確認しながら、動作確認を行いました。

線量の測定は1年以内にチェックをした測定器で行う事とされており、放射線測定器の取り扱いをみんなで再確認できる良い機会になったと思います。 管理士部会 平野雄二



## 5. 第120回 茨城RI研究会

12月1日に県内各施設より25名の参加があり、フジフィルムRIファーマ株式会社カスタマーサポート部画像技術支援グループ菊池明康先生により「心臓核医学における画像処理とピットフォール」と題し講演がありました。心筋シンチグラフィは、頻度の高い検査の一つであり、より深い知識が必要といえます。今回は、検査の基礎である他モダリティとの比較や、集積機序、投与する製剤の違いについてから始まり、検査結果の意味や解析方法による違いについて分かり易く講演をして頂きました。(報告土浦協同病院沼尻俊夫)

## 6. 第71回日本放射線技師会臨時総会

12月11日(日)笹川記念会館にて第71回日本放射線技師会臨時総会が開催されました。当日は、総会代議員の横田会長と小原常務理事が出席しました。本臨時総会では、公益社団法人取得にあたり、現社団法人から移行する際に必要な案件を審議しました。全ての議題は賛成多数で可決されました。

### 第一部 解散準備総会

社団法人日本放射線技師会の解散について

### 第二部 設立準備総会

#### 1. 公益社団法人

日本放射線技師会の設立について

#### 2. 定款並びに諸規定の一部変更について

#### 3. 理事・幹事・会計監査人の選任について



## 《 会 員 動 向 》

平成23年12月20日現在の会員数…671名  
新入会員

下宮 司	水戸ブレインハートセンター
中邨 友香	土浦協同病院
鈴木佳菜江	(株)日立製作所日立総合病院
神永 直崇	独法 水戸医療センター
石井明日香	(株)日立製作所日立総合病院

## 《 編 集 後 記 》

昨年は会員の皆様のご協力をいただき、インフォメーション6回と雑誌「ときわ」Vol.46として無事発刊することができました。本年も会員の皆さんに読んで貰えるような紙面作りを心がけていきたいと思っております。本年もよろしくお願ひ致します。

編集委員：小原孝夫(多賀総合病院), 齋藤哲也(土浦協同病院), 島田雅彦(水戸済生会総合病院)、水木一弘(筑波大学附属病院), 佐々木雅一(日立総合病院), 奥山寿恵(日立総合病院)